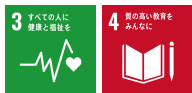


要請番号 (JL00922B14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マレーシア	G114 新体操		個別	交替 2代目	2年	・ 2023/2 ・ 2023/4 ・ 2024/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

首相府経済企画院国際協力担当総局

2) 配属機関名 (日本語)

サバ体操協会
NGO

3) 任地 (サバ州コタキナバル) JICA事務所の所在地 (クアラルンプール)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はサバ州青年スポーツ省に登録されているNGOで、子供たちに器械体操、新体操、集団演技を指導している。新体操は、女子選手(5歳から18歳)が平日の放課後と週末の日中の時間を使い練習している。体操協会は父兄によって運営され、予算の多くは選手の月謝で賄われているが、サバ州スポーツカウンスルからの補助金もある。マレー半島の都市部に比べると競技レベルはまだ高くなく、競技人口が少ないため実践の場が限られ、選手のレベルアップが課題である。2019年7月まで青年海外協力隊が活動し、2019年2月より1名の選手がナショナルチームの強化選手として選抜された。コロナ禍では人数制限等を設け感染防止を徹底した運営が行われており、オンラインでの大会も開催されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

現在、就学前からシニアまでが選手登録しており、コーチ1名とアシスタントコーチ(兼選手)が指導をしている。練習施設は、州立体操場の競技用マット1面のみのため、前任が練習内容やクラス分け、練習時間などを見直し、就学前クラス以外は1回3時間の練習を週3回確保できるよう工夫した。マレーシアには、国際ルール以外に独自のルールや技術レベル承認審査があり、それらは全国大会出場には必ずクリアする必要があるが、サバ州ではコーチ数の圧倒的不足等の課題があり、他州に比べ基礎体力、基礎技術の強化に後れを取っている。限られた練習時間と施設等の課題を乗り越え、多くの選手を育成する創造性のあるコーチング技術の提案、選手と現地コーチが楽しく競技に取り組める支援が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

サバ州のチームが全国大会で上位入賞できるように以下に取り組む

- マレーシア独自のルールを理解するとともに、国際ルールに則った指導法、演技構成や大会出場申請書類の準備・記入方法等を現地コーチと共有し、コーチのレベルアップを目指す。
- 基礎体力、基礎技術向上の為に練習計画と内容を改善し、実施する。
- 選手に直接指導を行い、日誌等を利用したモチベーションアップを計りつつ、怪我の予防等競技以外の知識も高める。
- 団体競技のレベルアップに加え、ナショナルチーム加入を狙えるような個人選手の強化にも取り組む。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

新体操フロア(一面)、CDデッキなどの音響設備

4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚:コーチ4名(20-50代、コーチLevel 1&2,指導歴1-8年、パートタイム)、アシスタントコーチ(16-20歳、Level 1程、選手兼務) ※コーチレベルは4段階あり、1は初級
選手: 就学前約25名、小・中学生約45名、ジュニア・シニアの約120名(全国大会で8位入賞レベル)

5) 活動使用言語

マレー語

6) 生活使用言語

マレー語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]: ()

[学歴]: () 備考:

[性別]: (女性) 備考: 女子チームの指導のため

[経験]: (競技経験) 5年以上 備考: 指導時に見本となるため

(指導経験) 2年以上 備考: 主に子どもを指導するため

[参考情報]:

- ・全国大会出場と同等の競技者レベル(必ず)
- ・国際審判(FIG)の知識(必ず)

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (熱帯雨林気候) 気温: (25~35℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水道]: (安定)

【特記事項】

平日は午後から夜間、週末は日中の指導があり、遠征等で休みは不定期。指導上英語が必要な場合もある。
新型コロナウイルス感染症の感染状況等に応じ、活動内容は適宜配属先と調整する。